

各 位

会 社 名 共 立 印 刷 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 野田 勝憲
 (コード番号：7838)
 問い合わせ先 取締役管理統括 木村 純
 電 話 番 号 03-5248-7800

平成 17 年 3 月期の業績見通しについて

平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

【連結通期】

(単位：百万円・%)

| 項目 | 決算期 | 平成 17 年 3 月期 (計画) | | 平成 16 年 3 月期 (実績) | | |
|-------------|-----|-------------------|-------|-------------------|-----------|-------|
| | | | 構成比 | 前年比 | | 構成比 |
| 売上高 | | 30,401 | 100.0 | 97.1 | 31,323 | 100.0 |
| 営業利益 | | 2,079 | 6.8 | 152.0 | 1,368 | 4.4 |
| 経常利益 | | 1,653 | 5.4 | 182.5 | 905 | 2.9 |
| 当期純利益 | | 930 | 3.1 | 206.4 | 450 | 1.4 |
| 1 株当たり当期純利益 | | 53 円 66 銭 | | | 55 円 17 銭 | |

【単体通期】

(単位：百万円・%)

| 項目 | 決算期 | 平成 17 年 3 月期 (計画) | | 平成 16 年 3 月期 (実績) | | |
|-------------|-----|----------------------------------|-------|-------------------|-----------|-------|
| | | | 構成比 | 前年比 | | 構成比 |
| 売上高 | | 30,177 | 100.0 | 96.4 | 31,292 | 100.0 |
| 営業利益 | | 1,670 | 5.5 | 158.9 | 1,051 | 3.3 |
| 経常利益 | | 1,350 | 4.5 | 198.3 | 681 | 2.1 |
| 当期純利益 | | 747 | 2.5 | 220.6 | 338 | 1.1 |
| 1 株当たり当期純利益 | | 43 円 10 銭 | | | 41 円 46 銭 | |
| 1 株当たり配当金 | | 10 円 00 銭 (内 株式上場記念配当金 5 円 00 銭) | | | 5 円 00 銭 | |

- (注) 1. 平成 16 年 3 月期 (実績) の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。また、平成 17 年 3 月期 (計画) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (1,000,000 株) を含めた予定期末発行済株式数 17,340,000 株により算出しております。
2. 平成 16 年 4 月 30 日付で普通株式 1 株を 2 株に分割しております。そこで株式会社ジャスダック証券取引所の公開引受責任者宛通知「「上場申請のための有価証券報告書」における 1 株当たり指標の遡及修正数値の取扱いについて」(平成 16 年 12 月 10 日付・JQ 証 (上審) 16 第 3 号) に基づき、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり指標の推移を参考までに掲げると以下のとおりとなります。

平成 16 年 3 月期 (実績)

| 項目 | 連結通期 | 単体通期 |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 株当たり当期純利益 | 27 円 58 銭 | 20 円 73 銭 |
| 1 株当たり配当額 | - | 2 円 50 銭 |

ご注意：この文章は当社の平成 17 年 3 月期の業績の見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 投資を行う際には、必ず当社が作成する新株式発行届出目論見書 (並びに訂正事項分) を御覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。

【平成 17 年 3 月期業績見通しの前提条件】

1. 連結通期

(a) 売上高

30,401 百万円（前期比 2.9%減）を見込んでおります。

当社の属する印刷業界は、企業経営の合理化による販売促進費の削減、少子化による社会環境変化による出版印刷物の発行部数減少、印刷産業の成熟化による競争激化等の厳しい経営環境に置かれております。その結果、製品種類別売上高の内訳はチラシ、通販カタログを中心とした商業印刷は 18,523 百万円(前期比 1.9%減)、車・求人・住宅等・パソコン等の情報誌を中心とした出版印刷は 11,852 百万円(前期比 3.9%減)、その他 24 百万円（前期比 82.1%減）を見込んでおります。

(b) 売上原価

24,960 百万円（前期比 5.0%減）を見込んでおります。

製造経費は 3,557 百万円(前期比 6.9%増)で平成 15 年 12 月及び平成 16 年 2 月の工場増設により、リース料、減価償却費、修繕保守料、電力料等で 232 百万円の増加を見込んでおります。

しかし、材料費は 9,789 百万円（前期比 5.9%減）内製化の促進及び作業効率アップによる社内合理化で労務費 2,074 百万円（前期比 10.6%減）外注加工費 9,432 百万円（前期比 7.7%減）を見込んでおります。

(c) 販売費及び一般管理費

人件費、交際費、派遣社員費、発送費等 300 百万円の削減により 3,361 百万円（前期比 8.2%減）を見込んでおります。

(d) 営業利益

内製化の促進、作業効率のアップにより売上高の減少を吸収し、2,079 百万円(前期比 51.9%増)を見込んでおります。

2. 単体通期

(a) 売上高

30,177 百万円（前期比 3.5%減）を見込んでおります。

製品種類別売上高の内訳は商業印刷 18,258 百万円(前期比 2.6%減)、出版印刷 11,794 百万円(前期比 4.1%減)、その他 124 百万円（前期比 51.9%減）を見込んでおります。

(b) 売上原価

25,365 百万円（前期比 4.9%減）を見込んでおります。

製造経費 2,744 百万円(前期比 14.0%増)で平成 15 年 12 月及び平成 16 年 2 月の工場増設により、リース料、減価償却費、修繕保守料、電力料等で 339 百万円の増加を見込んでおり、労務費は 1,183 百万円（前期比 4.9%増）56 百万円増を見込んでおります。

しかし、材料費は 9,643 百万円（前期比 5.7%減）内製化の促進及び作業効率アップによる社内合理化で外注加工費 11,680 百万円（前期比 9.4%減）を見込んでおります。

(c) 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は 3,140 百万円(前期比 11.7%減)人件費、交際費、派遣社員費、発送費の削減により 418 百万円削減する予定です。

(d) 営業利益

内製化の促進、作業効率のアップにより売上高の減少を吸収し、1,670 百万円(前期比 58.8%増)を見込んでおります。

ご注意：この文章は当社の平成 17 年 3 月期の業績の見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際には、必ず当社が作成する新株式発行届出目論見書（並びに訂正事項分）を御覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。